

RIVERFRONT

人と川とのふれあいを求めて・———— 2002 Vol.43



舟運特集

隅田川を航行する水上バス。東京周辺では隅田川、荒川と臨海地区を結ぶ航路がいくつかの事業者によって運営されており、年間の利用者は約300万人を数えます。イベント利用だけでなく東京観光の足、通勤手段として利用されています。(写真：研究第三部 大手)

C O N T E N T S

2002年を迎えて・・・・・・・・・・	1	海外調査報告	
河川における舟運の現状と課題・・・・・・・・	2	1) 南フランス運河事情	
荒川における通航ルール策定と舟運活性化構想・・・・・・・・	8	～ローヌ・セート運河クルーズを体験して～・・・・・・・・	31
淀川の舟運利用について・・・・・・・・	14	2) 中国運河調査報告・・・・・・・・	33
江戸川の舟運利用について -自治体の立場から-・・・・・・	18	道具としての「生物環境データのIT化」がもたらす期待・	35
舟運活性化と市民活動・・・・・・・・	22	報 告	
江戸川舟運全体構想・・・・・・・・	25	「川に学ぶ体験活動協議会」活動報告・・・・・・・・	37
「河川舟運」研究要旨		岐阜分室だより	
舟運・河岸復活に関する研究・・・・・・・・	29	出張所長奮戦記・・・・・・・・	38
川の路構想～木曾三川舟運構想～・・・・・・・・	29	万葉の川心 第39回・・・・・・・・	39
信濃川・阿賀野川下流域の水面利用・・・・・・・・	30	新刊図書の紹介・・・・・・・・	40
航走波の課題と対策 ～荒川下流域におけるヨシ原保全対策～・・	30	ご 案 内	
		平成14年度「川に学ぶ」活動助成事業 募集のお知らせ・	41
		平成14年度「水辺施設」募集のお知らせ・・・・・・・・	42